



区内小学生が 夏休みの自由研究コンクールで**大賞**受賞！

「絶滅危惧種って知ってる？」というテーマの作品で「夏のチャレンジ全国小学生『未来』を作るコンクール」（主催:ベネッセ教育総合研究所、後援:文部科学省・環境省等）の大賞を受賞した池袋本町小学校4年生の神田 勝秀さんにお話を伺いました。

自然に関心を持ったきっかけ

昔から、公園でアリをずっと眺めているのが好きでした。だんだんと「このアリとあのアリは、よく見たら色や大きさが違うな」と気になって、調べるようになりました。自然や動物は、みんな好きです。お父さんと一緒に釣りに行くようになってからは、魚にも興味を持つようになりました。

作品テーマは「絶滅危惧種って知ってる？」

去年の夏は「外来生物のひみつ」をテーマに研究したので、続きを選びました。3年生の夏、ニュースで外来種の「ヒアリ」が問題になっていることを知ったんです。そこから、生き物について詳しく調べたくなったので、図書館で本を借りて読んだり、ネットで調べたり、一緒に住んでいるおばあちゃんに、昔近所でよく見かけた動物の話の話を聞いたりもしました。

「豊島の森」自然観察講座への参加をきっかけに深まった、自然への興味

海外にもいろんな動物や植物がいるけど、いまは自分の身の回りの生き物に興味があります。「どうしたら日本の絶滅危惧種が守れるのかな?」と考えて、地域の人たちがどんな取り組みをしているのか知りたくなったので、参加しました。豊島区役所の屋上庭園で、いろんな植物や虫を観察してメモにまとめました。



自然の勉強を通して、感じたこと

自然を大切にすることが強くなりました。毎日のご飯で食べるお肉や魚や野菜も、命をいただく感謝を忘れないようにしています。あとは、「国語は少し苦手だけど、調べたことをわかりやすく説明するために大事な」とか、「社会科も、動物の生息地を調べるときに地図をわかっておいたほうがいいな」とか、考えて勉強するようになりました。得意な理科の授業中も、「まだ自分が知らないことが、いっぱいあるはずだ」と、教科書や図鑑をしっかりと読むようにしています。

「豊島の森」自然観察講座に参加しましょう

豊島区役所 10 階、かつての豊島区の自然を再現した屋上庭園「豊島の森」では年 4 回、小学生を対象に自然観察講座を行っています。植物と生き物の観察、落ち葉や木の実を使った工作など、季節に合わせた内容です。

詳しくは豊島区環境清掃部環境政策課まで。



二酸化炭素を吸収する樹木は、「木材」になってからも吸収した炭素を貯蔵し続けます。つまり、木造建築は温暖化の抑制にも通じています。現在建設中のとしま区民センターでも木材をたくさん使っています。表紙の「パパママ☆すぽっと」では、秩父産の木材をふんだんに使用。公園に咲く桜の木の下をイメージした、木育の空間デザインです。

豊島区と秩父市は交流都市としての連携を促進しています。平成 31 年度は「カーボン・オフセット事業」の実施を予定しています。

カーボン・オフセットとは、温室効果ガス排出量のうち削減が困難な量の全部または一部を、ほかの場所で実現した温室効果ガスの排出削減や森林の吸収をもって埋め合わせるという方法です。

木材が
地球にやさしいって
知ってましたか？

◆ ご意見・ご感想・エコ情報をお待ちしております ◆

はがき、メール、FAXのいずれかで、住所・氏名・年齢・電話番号・アンケートの答えの他「ご意見・ご感想、エコのわで取り上げて欲しい人や場所、企業、エコに関する情報」などを明記のうえ環境政策課までお寄せください。

★アンケート「エコのわ 23号」でよかった記事を教えてください。(いずれか1つ)

①表紙 ②知ってる、知らない? CO₂ ③エコのわBOOK ④エコのわスタイル

掲載されている記事・写真・イラスト等の無断転載・複製を禁じます。

「エコのわ」第23号 平成31年3月11日発行

発行：豊島区環境清掃部環境政策課 〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1

電話：03-3981-2771（直通） FAX：03-3980-5134

メール：A0029180@city.toshima.lg.jp

制作協力：株式会社エイエムアドシステム



第22号は「みどり東京」温暖化防止プロジェクトの助成事業です。

